



レーザー誘導方式
ローレルクランプAGF導入による
自動倉庫化で、最先端の物流拠点を実現

昨年、淀川流通センター開設を機に国内で初めてレーザー誘導方式ローレルクランプAGFを導入された福井部長代理と野崎担当部長代理、六戸課長にお話を伺いました。

レーザー誘導方式ローレルクランプAGF

DESIGN 2

パッケージプロバイダーの
関西最大物流拠点



レンゴ株式会社
淀川流通センターさま

所在地 大阪市福島区大開4-1-186

レンゴグループは、板紙、段ボールを中心に軟包装製品、重包装製品など包装資材を製造・販売している。段ボールでは業界最大手。淀川流通センターは、関西最大規模の物流拠点として、2021年9月より開設。住友商事(株)と共同でマルチテナント型物流倉庫を建設し、その一部をレンゴの拠点として、物流の効率化、輸送品質とサービス向上などの業務改革を推進。また荷主企業の立場で、トラックドライバーの労働環境改善に積極的に取り組んでいる。



※AGF=Automated Guided Forklift

ホワイト物流
実現へ期待大！
さらなる拡張を
計画中です

お話を伺った方

尼崎工場 物流部
部長代理

ふくい やすひで
福井 泰秀さま



当社はパッケージプロバイダーとして6つのコア事業を持っていますが、そのうち主力事業は段ボール並びに段ボール原紙の製造・販売です。2021年9月に開設した淀川流通センターは関西最大規模の物流拠点であり、西日本へ段ボール原紙を供給しています。80年以上続いた淀川工場の跡地を利用して建設したもので、AGF、倉庫管理システム(WMS)、RFIDによる製品管理、トラック誘導システムとヒッキングアプリ等の最新設備を導入。物流部門の効率アップがなされ、ハブ倉庫としての役割を存分に果たしています。また物流における2024年問題の対応として、東日本から関西より西への配送の中継基地、生産工場の天候不順による配送トラブル時のBCP対策としても機能しています。

レーザー誘導方式ローレルクランプAGFは、

トラックドライバーや倉庫作業員の減少に大きな危機感を抱いた当社が、新しい物流センター開設に伴いぜひとも解決しなければならぬ問題であると考えていたところ、三菱ロジスネクストさんより、海外での導入事例として提案されました。ローレル原紙を扱うという、当社業務の性質上、ローレルクランプ搭載のフォークリフトで出入庫作業を自動化できたことが採用の決め手でした。またローレルクランプAGFは国内で初めての導入と聞いています。さらにコンベヤを設置。手動エリアと自動エリアをつなぎ、倉庫面積2万㎡のうち25%を自動倉庫とし、トラックから降ろした原紙を6本のコンベヤを介し8台のローレルクランプAGFで入庫、また出庫しています。現在は現場整理など含めローレルクランプAGFで1日500本〜1000本の搬送をしています。またRFIDによる製品管理、トラック誘導システムとヒッキングアプリ等の技術を用いることで、広い倉庫でも、自動と手動で複数のリフトマンが同時作業をしながら非常に効率的に倉庫の運営ができています。加えて、トラックドライバーの待機時間が大幅に短縮。当社が力を入れているホワイト物流の実現に向けても高評価で、ゆくゆくは自動倉庫化40%を視野に入れています。



なかい まさお
中井 雅雄



みなみ のりゆき
南 憲之

営業担当
ロジスネクスト近畿株式会社 営業部
ソリューション営業課長

開発担当
三菱ロジスネクスト株式会社 技術本部
物流ソリューションエンジニアリング部
システムエンジニアリング課長

